２０１７年（平成２９年）６月２４日　土曜日
東奥日報新聞　１３面　掲載

【個人ＴＴ女子エリート】力強い走りで昨年に続き4位となった上野（Ｃｉｅｌ　Ｂｌｅｕ　鹿屋）＝写真㊨、全力の走りで6位に食い込んだ工藤（ＡＣ八戸学院）＝同㊧

自転車全日本ロード　階上で開幕
上野（八工出）4位、工藤（ＡＣ八戸学院）6位

全日本自転車競技選手権ロード・レースが23日、階上町の階上岳登山口周辺周回コースで開幕した。初日は1周13キロのコースの周回タイムを競う男女個人タイムトライアル（ＴＴ）の年齢別6競技を実施。本県関係選手は23歳以上のエリート女子で上野みなみ（八戸工―鹿屋体育大大学院出、Ｃｉｅｌ　Ｂｌｅｕ　鹿屋）が、目標の表彰台は逃したものの昨年大会に続き4位に入った。同大会初出場の工藤めぐみ（ＡＣ八戸学院）は6位入賞と健闘。男子はジュニアで昨年大会3位だった山本真寛（八工大一出、早大）が9位、エリートの石橋学（青森山田―鹿屋体育大出、ブリヂストンアンカー）も9位だった。この日は障害がある選手によるパラサイクリングのＴＴも行われた。2日目の24日は個人ロードレース男子23歳以下と女子エリートを行う。（高松拓輝、若松清巳）

地元の声援後押し

○…全日本選手権初出場ながら、エリートで6位に食い込む力走をみせた工藤（ＡＣ八戸学院）。スタート直後の下り坂で一気に加速し、レース前半は順調に飛ばした。後半にかけてややペースを落としたが、最後まで粘り強く走り抜いた。

母親と実業団レーサーの二足のわらじを履く。アップダウンが続くコースに「体力的にきつかった。中盤以降は下りも少なく、脚を休ませられなかった」と苦笑い。

弘前市に住み、八戸市を拠点とするチームで日々練習を積む。「（同じ県南地方の）地元の声援に後押しされた。気持ち良く走れた」と笑顔を見せた。（高松拓輝）

東奥日報社提供
この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです